

# PANEL 53

公益社団法人 兵庫県建築士会 神戸支部

○支部長あいさつ ○支部役員・各委員会メンバーリスト

○令和4年度事業報告（研修委員会・青年委員会）



## 日本の未来の為に



令和5年4月22日  
公益社団法人 兵庫県建築士会  
神戸支部 支部長 戎 孝之

公益社団法人 兵庫県建築士会 神戸支部 支部長の戎でございます。

日頃より会員の皆様には当会へのご支援とご協力を賜りまして感謝いたします。  
昨年、支部設立60周年の年を迎え、記念式典も無事終えることができました。ひとえに会員の皆様、並びに建築士会に賛同してご支援頂いている方々のおかげだと感謝申し上げます。

令和2年に始まったコロナ感染症も今では感染者が徐々に減少し、常態化されてきたように思います。令和5年3月13日から、政府よりマスク着用については個人の判断に委ねられることになり、個人々々が責任を持って行動することとなりました。但し、推奨として、「周囲の方に感染を広げないために、受診時や医療機関・高齢者施設などを訪問する時、通勤ラッシュ時等、電車・バスに乗車する時はマスクを着用しましょう。又、自分の身体を感染から守る為に、重症化リスクの高い方が混雑した場所に行く時はマスク着用が効果的です。」とのことで国民に注意を呼びかけています。自分の身体を守るには自分自身で考え、注意して行動することが必要であると思います。

この3年間、毎日コロナ感染者数は、テレビ、インターネットなどのニュースで報じられていましたが、最近は少なくなってきています。しかし、マスコミの情報量に惑わされることのないよう感染状況に注意が必要ではないでしょうか。

コロナ感染症が常態化し、感染にも対応できるようになってきたことで、行動制限も緩和され、少しですが霧が晴れて明るくなったように思います。

今年はWBC(ワールド・ベースボール・クラシック)が開催されました。日本での応援はマスクを着用しているものの、声だし応援が可能となり、球場だけにとどまらず、日本全国で盛り上がり、日本が見事に野球発祥の国、アメリカを抑えて優勝しました。そして、私たちに勇気と感動と希望を与えてくれました。そして、夢が現実となることを教えてくれました。コロナ禍で押えられていた行動制限も解除されて、日常生活が戻り、未来に向かって前進していくような気持ちにさせられました。

建築業界において、コロナ禍で今まで我慢していた「ものづくり」が私たち建築士にとって力を発揮できる状態に戻ってきました。東北地震の時に楽天イーグルスの嶋選手がファンに向け

て送った言葉を借りると、「**再び立ち上がり 見せましょう 建築の底力を、見せましょう 建築士の底力を、見せましょう 建築主の底力を、共に頑張りましょう 日本の未来の為に**」景気が落ち込んだ日本の社会を「ものづくり」で再び元気にしていきましょう。

私たち建築士にできることは何があるでしょうか。いろんな災害に対処できる堅剛な建物や環境を造ることはもとより、人と人のコミュニケーションによる情報の伝達、交換により、人々に精神的な安心感をもっていただくことが重要であると考えます。何事にもくじけず、希望と微笑みをもって社会に寄り添い困難に立ち向かっていくことではないでしょうか。

建築士会は今後も会員の皆様が互いに情報の提供、交換を円滑に行える団体であること、そのことにより人々に物理的・精神的に安心・安全な社会生活がおくれる「ものづくり」を提供することで社会に貢献できるのではないのでしょうか。

最後になりますが、これからの公益社団法人兵庫県建築士会神戸支部では、会員の皆様に対し、講習会、見学会、セミナー、耐震相談等の事業活動を展開することで、多くの情報を得ていただき、技術の向上、知識の習得、研鑽の一助として役立てて頂きたいと考えています。

更に、一般の方々に建築士の存在を知っていただき、建築士としての技術、知識を提供することが建築士の地位向上につながり、建築の職能団体である建築士会が市民に認められた団体で、社会的地位を確保できることを願っています。会員皆様には相互扶助をもって、笑顔で安心し、希望が持てる建築士会にご参加して頂けるような団体になる為に、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

そして、会員皆様方のこれからの、ご多幸とご健勝を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

## 令和5年度役員

### 1. 神戸支部支部長 (1名)

ささき ひろし  
佐々木 博司

### 2. 神戸支部副支部長 (4名)

あらかわ なおき  
荒川 直樹

きゅうほう ひろゆき  
久宝 弘幸

こき かずと  
湖亀 一登

のぐち なおと  
野口 直人

### 3. 神戸支部理事 (11名)

こうらい けんじ  
高麗 憲志

ささき やすゆき  
佐々木 康行

しばさき やすこ  
芝崎 康子

たかはし としろう  
高橋 利郎

つねみね ひろふみ  
常峰 博文

てらだ みさと  
寺田 みさと

まえだ さえ  
前田 さえ

まきもと みつのぶ  
槇本 光展

### 4. 神戸支部監事 (2名)

あかざわ しょうご  
赤澤 祥語

まえかわ しょうじろう  
前川 象二郎

### 5. 神戸支部顧問 (2名)

えびす たかし  
戎 孝之

たなか よしゆき  
田中 義之

## 令和5年度各委員会メンバー

### 研修委員会

委員長 佐々木 博司  
副委員長 石田 敦、芝崎 康子、槇本 光展  
委員 佐々木 康行、瀬戸口 茂、常峰 博文、中居 博喜、  
前田 さえ、毛利 康人、安水 正、山下 享子

### 青年委員会

担当副支部長 荒川 直樹、野口直人  
委員長 高麗 憲志  
副委員長 川田 靖、中村 重陽  
委員 石田 志野、高橋 利郎、寺澤 梓  
相談役 寺田 みさと  
顧問 上野 和彦

## 令和4年度神戸支部通常総会・60周年記念式典

令和4年5月18日

副支部長 佐々木 博司・湖亀 一登

開催日時：令和4年4月23日（土）13：00～

開催場所：神戸ポートオアシス多目的ホール

参加人数：来賓者 15名  
通常総会 24名<前年27名>  
懇親会 なし（新型コロナウイルスの影響で）

**報告：**今年度は神戸支部創立60周年記念式典および総会を神戸ポートオアシスにて行わせていただきました。神戸市建築住宅局局長 根岸芳之様はじめ建築関係他団体や兵庫県建築士会本部、他支部から多数のご来賓の方々に出席いただきました。しかしながら新型コロナウイルスの影響もあり通常総会出席者の方の出席は低調でした。  
また今年度も懇親会を開くことかなわず、会員相互の交流をはかることができませんでした。一刻も早いコロナ禍の終息を願うばかりです。



戎支部長あいさつ



総会風景

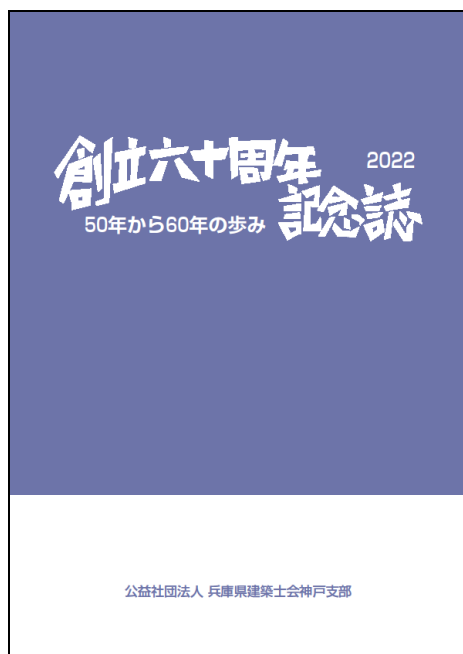


来賓ご出席者 総会参加者 特別講演会参加者

世界中を巻き込んだ大変なコロナ禍のなか、神戸支部は 60 周年を迎えました。ここ 10 年を振り返りながら、会員減少に加えてのコロナ禍という時期において神戸支部としてどうだったかを確認できました。ただやはり会員減少に伴う事業開催減少・青年委員会のメンバー問題など課題は多く、振り返りから今後の神戸支部についてどうするのかを考える必要を感じています。

非常に大変な時期だったにも関わらず、今回の記念誌編集にご協力いただいた方々には、この場を借りて御礼申し上げます。

【60 周年記念誌編集担当：佐々木 博司】



## 令和4年度 「歴史と環境」を学ぶ会 事業報告

・・・奈良 薬師寺・唐招提寺・大安寺巡る・・・

主催：公益社団法人兵庫県建築士会 神戸支部 研修委員会

■日時：令和5年1月14日（土） 8：00～17：40

■内容：南都七大寺と呼ばれていた薬師寺・大安寺と鑑真ゆかりの唐招提寺を巡り、奈良の寺院にある壮大な空間と魅力ある古建築（薬師寺は復元された伽藍）を体感することで、建築に関わる日常業務等のスキルアップに努めた。※薬師寺では法話も体験出来ました。

■場所：薬師寺・唐招提寺・大安寺

■参加者：会員 21名、非会員 2名 合計 23名

■参加費：会員 4,000円、非会員 6,000円

今年度の「歴史と環境」を学ぶ会は、まだまだコロナ禍の続くなか感染予防の対策を講じ、当日雨天にもかかわらず、久しぶりに兵庫県を飛び出して、奈良の寺院を巡ることが出来ました。

最初に、復元された白鳳伽藍が美しい薬師寺を訪れ、まず奈良のことや薬師寺の歴史・伽藍・仏像等の説明を交えた法話を30分ほど笑いも交えて聞かせて頂きました。法話後には伽藍復興にも役に立った写経の紹介も合わせてあり、参加者にはその写経セットを購入された方もいたようです。



ここからは薬師寺の伽藍、特に1300年以上の時を経た東塔や鎌倉時代再建の東院堂に加えて、お写経勧進によって再建された金堂（1976年）・西塔（1981年）・大講堂（2003年）・回廊などを見て廻り、それぞれのお堂に鎮座する白鳳仏の薬師三尊像に加えて、弥勒三尊像・聖観世音菩薩像・四天王像などを参拝し、薬師寺を堪能しました。





その後、薬師寺から唐招提寺へ向かう道すがら、大納言にて昼食を楽しみ、参加者同士の交流も出来ました。

次に、鑑真ゆかりの唐招提寺を見学、奈良時代の建築で国宝の金堂を前にして、時代の流れを感じさせてもらい、金堂内の廬舎那仏坐像・千手観音立像・薬師如来立像の大きな三尊に圧倒されながら、御廟・戒壇などの鑑真和上に関する史跡、創建時から鎌倉期までの多彩な建築が立ち並ぶ伽藍を参加者それぞれのペースで見学してもらいました。



そして最後に、大安寺に移り、参加者全員で住職による大安寺の説明を受け、本堂で大々的にお経を挙げて頂きました。その後、馬頭観音立像がある嘶堂を見学、堂内ある最盛期の伽藍をCG画像で再現したものを代表者による操作で参加者全員が、その当時の伽藍を体験することが出来ました。そこからは、創建当時の雰囲気が残る南大門や少し離れたところにある東・西の両塔跡なども見学し、久しぶりになる奈良の古寺を堪能できたと思います。



帰路の途中には、奈良の土産といえば柿の葉寿司ということで、店舗で土産品を買い込み神戸へ帰ってきました。本当に、天候の問題などもありましたが、兵庫県を飛び出した「歴史と環境」を学ぶ会が実施でき、大変よかったですと感じました。今後も、いろんな場所で見学出来るような事業にしたいと、改めて思いました。(文：佐々木)

## 令和4年度第1回法規講習会報告書

(公社) 兵庫県建築士会神戸支部研修委員会

(一社) 兵庫県建築士事務所協会神戸支部研修部 共催

- **開催日時：** 令和5年2月9日(木) 13:30~16:30
- **開催場所：** 兵庫県学校厚生会館 2階大会議室 神戸市中央区北長狭通4丁目7-34
- **参加者：** 44名
- **受講料：** 建築士会会員・事務所協会会員は3000円、会員外4000円

司会： (一社) 兵庫県建築士事務所協会研修部 山田 亨氏

開会挨拶：(公社) 兵庫県建築士会神戸支部副支部長 佐々木 博司氏

■ **講演内容：** 講習順は後日調整

- ①「宅地造成等規制法の改正概要」  
講師：神戸市建設局防災課宅地審査担当係長 三島 雅功様
- ②「開発許可及び開発許可の技術基準等の改正」  
講師：神戸市都市局都市計画課推進係長 中林 卓哉様
- ③「市街化調整区域における開発（建築）許可基準の改定」  
講師：神戸市都市局都市計画課調整区域推進担当係長 藤田 直紀様
- 休憩- (15分)
- ④「神戸市景観計画と都市景観条例の改正について」  
講師：神戸市都市局景観政策課担当係長 福本 一海様
- ⑤「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律（建築物省エネ法）の改正（令和4年6月17日）について」  
講師：神戸市建築住宅局建築指導部建築安全課建築環境担当係長 正本 有香様
- ⑥「建築基準法関係の最近の動向について」  
講師：神戸市建築住宅局建築指導部建築安全課建築安全係長 高橋 宏治様
- ⑦「消防法施行規則の一部改正について及び神戸における消防同意電子化について」  
講師：神戸市消防局予防部査察課設備指導第1係長 福元 康介様

閉会挨拶： (一社) 兵庫県建築士事務所協会神戸支部副支部長


岡田 俊彦氏



事業報告シート						
事業分野	もの・まち・くらし・その他			作成日	令和4年5月7日	
事業名称	公益社団法人 兵庫県建築士会 神戸支部60周年記念 特別講演会					
開催日時	令和4年4月23日 (土) 15:00~17:00			開催場所	神戸ポートオアシス	
ふりがな	(こうえきしゃだんほうじん)ひょうごけんけんちくしかい こうべしご せいねんいんかい					
活動団体名	<b>(公益社団法人)兵庫県建築士会 神戸支部 青年委員会</b>					
事業の目的	<p>広く参加者を募ることにより、建築士会の活動を多くの方へ知っていただく場としたい。            建築家、東京大学名誉教授の内藤廣氏を招いてのご講演の後、それを受けてゲストとして神戸の建築家、タトアーキテクトの島田陽氏との対談とすることで、幅広い年齢層の集客を図り、会員拡大及び活動参加拡大の広報活動の場としたい。また、活躍されている講師の講演を聞くことにより、個々の意識向上につなげる事を目的とする。</p>					
主な事業内容	<p>テーマ；『建築のちから』            講師；内藤廣            【講師経歴】株式会社内藤廣建築設計事務所 代表／東京大学 名誉教授            1950 神奈川県横浜市に生まれる 1974 早稲田大学理工学部建築学科卒業 1976 早稲田大学大学院にて吉阪隆正に師事、修士課程修了 1976-78 フェルナンド・イゲラス建築設計事務所勤務 (スペイン・マドリッド) 1979-81 菊竹清訓建築設計事務所勤務 1981 株式会社内藤廣建築設計事務所設立 2001 東京大学大学院工学系研究科社会基盤工学 助教授 2002-11 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学 教授 2010-11 東京大学 副学長 2011- 東京大学 名誉教授            【ゲスト】タトアーキテクト/島田陽建築設計事務所 代表 / 京都造形芸術大学 客員教授。</p>					
	内訳	青年会員	一般会員	会員外	その他	合計
現地参加者	人数	5	57	41	21	124
WEB参加者	人数					174
建築士の関り	<p>建築士として著名な建築家の選出から始まり、事務所へのオファー、回答を得られるまでの過程を通じ、他の事務所の対応や建築家との関わり方等、日々行う業務に於いても、学ぶべき要素が多い機会と考え、この事業に関わっていききたい。</p>					
今後の検討課題	<p>今後もオンライン併用で行うことが想定されるため、下記が課題として考えられる。            ・申込フォームの検討(参加URL送付方法の効率化、人数制限、オンライン参加者属性の把握、CPD番号)            ・当日の欠席者対策(約470名の申込に対して174名の参加者)            ・当日の準備(機材準備、リハーサル含む)</p>					
連携・協力組織等	株式会社内藤廣建築設計事務所、タトアーキテクト/島田陽建築設計事務所					
<p>オンライン併用としては2回目の開催となる今回は、開始直後にスクリーンに上手く映写できないなどのトラブルはあったものの、会場スタッフが常時ついてくれていたこと、内藤先生の柔軟なご対応などにより、全体として無事終えることができた。講演会については、前半の内藤先生のご講演では、「建築のちから」について、「建築それ自身にしか回収できない建築固有の価値」や「無国籍建築」をキーワードにして語っていただき、我々建築士にできることはなにか、やるべきことは何かを示していただいたように思う。また、後半の島田氏との対談では、それぞれのコンペやプロポーザルについての経験、考え方や、建築コストの話など、普段は聞けないお話を伺うことができた。また、最後の質疑では、会場だけでなくオンラインからも多くのご質問をいただいた。</p>						
						
内藤先生のご講演		島田陽氏との対談		会場全体の様子		
事業担当(計画)者	高麗憲志(青年委員会)			事業責任者	高麗憲志(青年委員会・委員長)	
事業担当者連絡先				神戸支部所在地	神戸市中央区古湊通1-2-12 古湊ビル2階	
事業担当者E-mail				青年部URL	<a href="http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen">http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen</a>	

## 事業報告シート

事業分野	もの・まち・くらし・その他		作成日	令和4年8月2日		
事業名称	親子セミナー「まなぼ! つくろ! わりばしとわごむで”夢の家”」					
開催日時	令和4年7月30日(土) 13:30~16:30		開催場所	すまいるネット セミナールーム		
ふりがな	(こうえきしゃだんほうじん) ひょうごけんけんちくしかい こうべしぶ せいねんいんかい					
活動団体名	(公益社団法人) 兵庫県建築士会 神戸支部 青年委員会					
事業の目的	小学生親子を対象とした市民向け建築スクールの一環として、ものづくりの楽しさに触れるきっかけとなることを目的に行う。「神戸市住まいの安心支援センター」の委託継続事業。					
主な事業内容	第一部では日本や世界の夢のある建物のスライド講義を通じて、住まい(家)の多様な形態について学びます。第二部では、割りばしと輪ゴムを使って子供たちが思い描く「夢の家」の工作に挑戦。最後に子供一人ひとりに夢の家建築士認定証を発行します。					
参加者	内訳 人数	青年会員	一般会員	会員外	小学生 18	合計 18
建築士の関り	親子と一緒にモノづくり体験で、夢の仮想の姿を現実の形として造形し、創造すること、モノを造ることの楽しさを育み体感して頂くことが出来ればと考えている。					
今後の検討課題	わりばしとわごむの事業を行いました。今年も好評で、応募人数は、最終的には29組の申込があり、抽選で20組(子ども25名)となりました。ただ、当日キャンセルなどがあり、最終的には15組、18人の参加となりました。今年も、少し学年が低いお子さんが多く、中には何を作ったら良いか泣き出してしまったお子さんもいました。ただ、そのお子さんもスタッフのフォローなどで最後には作品を完成させて、満足してお帰り頂けました。今年も思い思いの夢のある家づくりができたと思います。割りばしから立体的なものを作るのは難しいかと思いますが、各自様々な面白い形が出来上がりました。今年も、模造紙に道や公園を書いて、そこにみんなの家を置いてひとつの町を作りました。					
連携・協力組織等	神戸市すまいの安心支援センター					
<p>当日の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わりばしの企画5回目です。今年は屋根にリボンを編み込んだり、ネットを貼ったりと個性的な家が多く出来ました。</li> <li>・図面枠を印刷して各自配りました。</li> <li>・わりばしの接合は難しいところもあったようですが、様々な立体の家が出来ました。</li> </ul>						
  						
事業担当(計画)者	寺田 みさと(青年委員会)		事業責任者	高麗 憲志(青年委員会・委員長)		
事業担当者連絡先			神戸支部所在地	神戸市中央区古湊通1-2-12 古湊ビル2階		
事業担当者E-mail			青年部URL	<a href="http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen">http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen</a>		

事業報告シート						
事業分野	もの・まち・くらし・その他			作成日	令和5年3月17日	
事業名称	建築写真の勉強会～スマホによる撮影方法～					
開催日時	令和5年3月17日 18:30～20:00			開催場所	神戸支部 事務所	
ふりがな	(こうえきしゃだんほうじん) ひょうごけんけんちくしかい こうべしご せいねんいんかい					
活動団体名	(公益社団法人) 兵庫県建築士会 神戸支部 青年委員会					
事業の目的	スマホが発達し、気軽に撮影できる今、スマホによる建築写真の撮影方法を学ぶ。建築写真の専門家に詳しく教えてもらえる機会を設け、今後の仕事に役立つ勉強会とする。					
主な事業内容	<p>テーマ；建築写真の撮影について</p> <p>講師；貝出写真事務所 建築写真家 / 貝出 翔太郎</p> <p>「スマホによる建築写真の撮影方法」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築写真のセオリー</li> <li>・スマホによる撮影方法とアプリによるパースの補正方法</li> <li>・受講者の撮影した写真に対するアドバイスとフィードバック</li> <li>・先生の作品の紹介</li> <li>・質疑</li> </ul>					
参加者	内訳	青年会員	一般会員	会員外	その他	合計
	人数	6	8	2		16
建築士の関り	建築士にとっての、最新の技術動向やデザイントレンドを確認し、施主とのコミュニケーションを深めるための貴重な勉強の場になりえる。					
今後の検討課題	今回は大雪の影響で延期になったにも関わらず、当初予約していただいた方全員参加出来た。支部事務所での講習は、この人数くらいがちょうど良いように感じた。講師の貝出先生は、その時々の受講者の質問に丁寧に答えていただき、受講者のカメラに対するレベルの違いがあったにも関わらず、どのレベルの方々も何かの成果を持って帰れたのではないかと。有意義な時間となった。1時間半があつという間に終わった。次回機会があれば、ぜひ企画したい。					
連携・協力組織等						
						
事業担当(計画)者	寺澤梓 (青年委員会)			事業責任者	高麗憲志 (青年委員会・委員長)	
事業担当者連絡先				神戸支部所在地	神戸市中央区古湊通1-2-12 古湊ビル2階	
事業担当者E-mail				青年部URL	<a href="http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen">http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen</a>	

## 事業報告シート

事業分野	もの・まち・くらし・その他	作成日	令和5年3月28日		
事業名称	建築見学会（京都の横内敏人作品を巡る）				
開催日時	令和4年3月21日（火） 12:00～16:30	開催場所	京都市		
ふりがな	(こうえきしゃだんほうじん)ひょうごけんけんちくしかい こうべしぶ せいねんいんかい				
活動団体名	(公益社団法人)兵庫県建築士会 神戸支部 青年委員会				
事業の目的	令和5年度特別講演会内でご講演いただく横内敏人氏の設計による3作品(下記)を事前に見学することで、作品及び講演の理解を深めるとともに、日常の建築に関わる業務等のスキルアップに努める。				
主な事業内容	<p>12:00～16:30</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・丹（京都市 2016年竣工）</li> <li>・川（京都市 2017年竣工）</li> <li>・若王子のアトリエ（京都市 1999年竣工）</li> </ul>				
参加者	内訳	青年会員	一般会員	会員外	合計
	人数	5	6	3	14
建築士の関り	見学先の選定から先方への事業趣旨の説明、見学ルートや時間の調整など、当日のスケジュール調整や段取りを通して日頃の業務に必要なスキルを身に付けることができた。				
今後の検討課題	今回は、横内敏人氏のご協力に多く依存したものであり、講演会の依頼時には、見学会の依頼をしていなかったため、見学会の依頼には少しタイムラグが存在した。講演会の依頼時に、見学会の依頼も行うことが重要だと思われる。				
連携・協力組織等	横内建築設計事務所				
<p>■当日の様子</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>・若王子のアトリエ 内部を案内して頂いた後 事務所の模型やスケッチを見学。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>・料亭 丹 横内先生の説明付きで 食事をしながら、建物の説明を うかがった。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>・ゲストハウス 川 横内先生の説明のあと 建物をじっくりと見学を行った。</p> </div> </div>					
事業担当(計画)者	高橋利郎(青年委員会)	事業責任者	高麗憲志(青年委員会・委員長)		
事業担当者連絡先		神戸支部所在地	神戸市中央区古湊通1-2-12 古湊ビル2階		
事業担当者E-mail		青年委員会URL	<a href="http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen">http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen</a>		

表紙建物

上：中央区 市立磯上体育館

中：兵庫区 県立兵庫津ミュージアム・兵庫はじまり館

下：西 区 なでしこ芸術文化センター